

鳥取県鍼灸マッサージ師会 通信

発行 一般社団法人
鳥取県鍼灸マッサージ師会
代表者 山根 和由
事務所 〒680-0031
鳥取市本町3丁目201番地
鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル
tel 0857-22-7598
fax 0857-30-0115

令和3年度 第1号

全4回の講習会開催を中止しました。

新型コロナウイルス流行する中、昨年度に続き、本年度も感染症予防対策の徹底のため、本会において予定されていた、事業及び講習会をやむなく中止とすることになりました。

会員の皆様の施術所経営への影響はもとより、患者様への安全、安心の確保が困難と判断し開催を中止させていただきました事をご理解いただけましたら幸いです。

本会も遅ればせながら、オンライン研修会に取り掛からないという思いはあります。皆様からのご教示をよろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束を切に願いますとともに、今後とも本会への変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人移行についてのご連絡。

令和3年1月31日に公益法人から一般社団法人への移行する提案事項の臨時総会が開催されました。

会員減少により、会員のメリットのひとつである、リフレッシュ券取り扱いなど、収益事業比率の維持が困難になり、総会にて諮られ承認されました。

なお、一般社団法人移行による運営及び事業に影響はありません。

会員の皆様には、今後とも変わりないご理解とご協力を願い申し上げます。

会の動き



4月10日

第1回理事・役員会を開催（Web開催）

本年度第1回理事会は、新型コロナ感染拡大の影響により本会事務所とのウェブ会議にて開催しました。

本会定時社員総会へ提出する議案全てに対して理事及び監事全員より提案された議案は全て承認されました。

4月25日

令和3年度社員定時総会を開催（鳥取市）

春の陽光が降り注いだ4月25日の日曜日、鳥取市障害者福祉センター・さわやか会館第1研修室を会場に令和3年度の定時社員総会を開催しました。いまだに拡大が続く新型コロナ感染症の影響のため、本年も規模を縮小し、感染症対策をしたうえで開催しました。

山根代表理事の挨拶に続いて、本総会の成立を確認した後、議長に笠田氏、記録人に山下氏、署名人に三田氏、薮田氏の各氏を選出しました。

議事では出席者の協力のもと、事前に配布済の資料に沿って以下の議案の審議・報告が円滑に進められ、その結果全ての議案が承認・可決されました。

なお、提出された議案は以下の通りです。

【第1号議案】 令和2年度会務・事業報告、同決算及び資金調達、設備投資の報告並びに監査報告の承認について。

【第2号議案】 一般社団法人への移行・発足について。

【第3号議案】 役員選挙について。

【第4号議案】 令和3年度事業計画・同予算ならびに資金調達および設備投資見込みに関する報告について。

【第5号議案】 全鍼師会定時代議員総会提出議案について。

【第6号議案】 中国地区鍼灸マッサージ師協議会について。

【第7号議案】 意見発表・その他。



5月23日・24日

全日本鍼灸マッサージ師会 定時代議員総会・協同組合総会（Web開催）

本会事務所にてウェブオンライン会議に山根和由代表理事が出席されました。

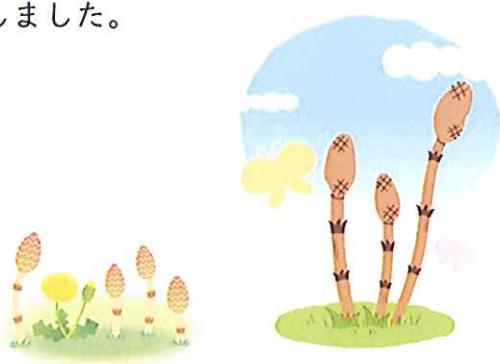
全鍼師会においても代議員選挙が行われ役員が改選されました。

5月27日

第2回理事・役員会を開催（Web開催）

午前10時より事務所に4名とオンライン出席3名の計7名の役員が出席しました。山根代表理事より全鍼師会・定時代議員総会

の報告があり、その他の議案についても審議を行い、全ての議案を全員一致で承認し、終了しました。



6月13日

第3回理事・役員会を開催（Web開催）

梅雨の時期らしい雨模様となった6月13日の日曜日に、午前10時より、本会事務所において本年度第3回目の理事会を開催しました。

本会事務所への直接出席6名、オンライン出席3名で、すべての理事・役員の出席で行われました。

会議では、代表理事の挨拶に続いて、本年度より就任していただいた内田員外監事からも新任の挨拶をいただいた後審議に移り、提案された全ての議案が承認、了解され閉会しました。なお、議案は以下の通りです。

【第1号議案】 各規定条項の確認・決定について。

【第2号議案】 一般社団移行に伴う定款及び各規定の改定について。

【第3号議案】 全鍼師会代議員総会における地方からの議案への対応について。

【第4号議案】 その他。

(1) 全鍼代議員総会、協同組合総代会の報告。

(2) 免許保有証申請等の案内について。

10月10日

第4回理事・役員会を開催（Web開催）

今回も事務所からの参加が5名、あとの3名はオンラインでの参加とハイブリッド開催となりました。

山根和由代表理事が挨拶を述べた後議長に就き、次の議案の審議が行われました。

【第1号議案】 上半期の会務報告について。

各業務執行理事から、それぞれ事前に配布済みの資料のとおりであると報告が行われ、事業担当業務執行理事からは、11月21

日に計画していた講習会は、講師の応募者がなく、やむなく中止したとの追加報告を行いました。

【第2号議案】 下半期の事業について。

総務担当山下業務執行理事より、第18回東洋療法推進大会in大阪が一日に縮小のうえオンライン開催となり、本会からは3名の参加申請があったこと、並びに11月13日に日本鍼灸マッサージ協同組合の研修会、翌日11月14日に全鍼師会都道府県師長会の開催が予定されているとの報告を行いました。

続いて、山根和由代表理事より、今後もできる限りコロナ感染のリスクを避けながら事業活動を続けて行くとの説明及び協力を求める発言がありました

【第3号議案】 定款・各規定見直し作業について。

山下業務執行理事より前回理事会以降検討を行ってきた結果、見直しがほぼ完了し、定款の記載内容・方法については問題がないことを法務局に確認したこと、修正が終わり次第役員全員へ配布する予定であるとの報告を行いました。

続けて、財務規定第8条に規定の事務員の給与について、10月1日より法定最低賃金が引き上げられたことに合わせて、現状の1日3,200円を3,400円に引き上げ、10月分より適用することについて承認を求める提案が成されました。

【第4号議案】 その他。

その他の議案の有無を尋ねたが特に発言はなく、全ての議案が承認され閉会しました。



10月17日

第20回 東洋療法推進大会 in 大阪 (Web開催)

10月17日、都シティ大阪天王寺において、大会テーマを「心も体も健康に！伝える鍼灸マッサージのココロとチカラ」と題して、オンライン開催されました。本会からは3名が参加しました。

全鍼師会・伊藤久夫会長の挨拶で開会式が始まり、特別講演は東京大学医学部附属病院リハビリテーション部鍼灸部門・粕谷大智先生による「腰痛の新しい概念とその治療の実際」と題したご講演がありました。

続いて、保険委員会、スポーツ・災害対策委員会、視覚障害委員会、介護委員会、法制委員会、学術委員会の各分科会が配信されました。

全鍼師会、大阪府師会、講師の先生方におかれましては本当にありがとうございました。



11月13日

日本鍼灸マッサージ協同組合研修会 (Web開催)

山根和由代表理事と、事業担当植竹雅宏業務執行理事が、オンラインでそれぞれ参加されました。



11月14日

全鍼師会都道府県師会長会議 (Web開催)

山根和由本会代表理事が、本会事務所でオンライン出席されました。

12月9日

全鍼・第1回法制担当責任者会議開催 (Web開催)

12月9日（木）19時より、全鍼師会、法制委員会、森孝太郎委員長と各県師会の担当者の会議がオンラインにて開催されました。

広告違反、無免許者（無資格）対策の各県の取り組みの報告と今後の問題点への対策について協議されました



主な中止となった事業

6/26.27 第7回中国地区鍼灸マッサージ師協議会 in 鳥取

8月 はりきゅうマッサージの日記念イベント

8/29 第40回全日本トライアスロン皆生大会ケア活動（米子市）

8/23 第2回学術講習会

9月 敬老の日にちなんだ治療奉仕活動（米子市）

11/21 第3回学術講習会（米子市）

1/23 第4回学術講習会（倉吉市）
他、島根県師会との交流会



今後の予定



新型コロナウイルス流行状況により、感染防止の為、
変更および中止になる事もあります。（2月現在分）

3月	第5回理事・役員会	8月	はりきゅう・マッサージの日 PR事業
5月22日	令和4年全鍼師会定時総会 場所 東京（麹町）	9月	鍼灸マッサージ師中・四国地区合同協議会 敬老の日にちなんだ治療奉仕活動 場所 米子市
5月23日	全日本鍼灸マッサージ師連盟総会・日本鍼灸マッサージ協同組合総代会 場所 東京（麹町）	10月23・24日	第21回 東洋療法推進大会 in埼玉
6月	令和4年度 定時社員総会 場所 鳥取市	11月12日	協同組合研修会（東京）
7月	皆生トライアスロン大会施術ボランティア 場所 米子	11月13日	都道府県師会会长会 場所 東京（四谷三丁目）
			※ 本会では年4回の学術講習会を予定しています。

役員の紹介

よろしくお願ひいたします。 (敬称略)

代表理事	山根 和由
業務執行理事	森下 義明（財務担当）
業務執行理事	山下 泰男（総務・事務局担当）
業務執行理事	植竹 雅宏（事業・広報担当）
業務執行理事	國岡昭太郎（事務局補佐・組織担当）
理事	市川 正明（IT担当）
理事	宅野 守（治療奉仕担当）
監事	内田 克彦（員外）
監事	薮田 和利（員内）
顧問	渡辺 憲（鳥取県医師会長）
地区長（東部地区）	森下 義明
地区長（中部地区）	植竹 雅宏
地区長（西部地区）	宅野 守



鳥取県鍼灸マッサージ師会オンライン研修会導入について

全鍼師会の研修、会議に参加して思った事。

Zoom の利用についてのお願いの通知の必要性。

1. 個人で Zoom アプリをスマートフォン・タブレットでは導入が必要です。※1

(スマートフォン・タブレットではアプリをインストールする必要があります。あらかじめ App Store や Google Play でインストールしておくと安心です。

パソコンから参加の場合は、Web ブラウザからミーティングに参加できますので、アプリなしでも問題ありません。)

2. 聞く側が、音声をミュートにしていないと、参加者の TV の音や雑談が聞こえてきて講師（発表者）の音声が聞こえないので注意が必要です。（ホスト側でミュートにすることも可能です。）

3. 発言者の音声設定により声が聞こえづらいケースもある。あらかじめテストが必要です。

4. 音声だけなら問題はありませんが、カメラを使用した場合、背景（部屋の中）が丸見えとなり注意が必要です。背景の設定もできますが、あらかじめ設定が必要です。

5. 質問者はミュートを解除してから発言をお願いいたします。

補足、主催者側の問題

Zoom の場合はグループ通話であっても、40 分間まで無料で使えます。※2

一つの会議につき 40 分までという時間制限があることから、40 分の期限が近づいてきたら一度会議を終了させ、新規に会議を立ち上げるといった使い方も可能ですが、手間も掛かり、講師には失礼にあたります。

※1

Zoom に招待されたらどうする？パソコン・スマホから参加する方法を説明

<https://symponict.nesic.co.jp/workingstyle/zoom/invitation/>

※2

【2022 年最新】Zoom の無料制限って？無料版と有料版ができる違いを総まとめ

<https://businesschatmaster.com/zoom/freeplan-limited>

【2022 年版】Web 会議システム おすすめ 12 選を徹底比較

<https://notepm.jp/blog/1962>

Skype Meet Now （スカイプもアプリを入れなくても招待できるようになっています。）

<https://www.skype.com/ja/free-conference-call/>

全鍼師会は多くの方が Zoom を利用されており標準になっているようです。スカイプの他、Microsoft Teams というのもありますが、今後の検討が必要です

マイナンバーカードが便利になっています！

まだ取得されていない方は、これを機会にご検討を！

こ～んなに便利！マイナンバーカード

NEW!

健康保険証
として使える！

NEW!

薬剤情報や
特定健診情報等が
マイナポータルで
確認できる！

確定申告でも
医療費普通知情報を
カンタン連携

新型コロナワクチン
接種証明書の
電子交付にも利用！
(年内開始予定)

住民票の写しなども
コンビニで
カンタン取得

行政手続きも
オンラインで

本人確認書類
として使える



詳しくは [マイナンバーカードで簡単！
デジタル庁作成 \(RD.11\)](#)

このチラシは昨年12月に全戸を通じて届いたものです。

入・退会状況と会員数

(2月1日現在) (敬称略) なし

(1) 入会者

(2) 令和2年度で退会された方

漆原徹到さん、小椋照夫さん、小林久夫さん、中嶋岑生さん、
森下一美さん、米澤路代さん、橋谷正太郎さん

(3) 総会員数 52名

ツボ10メモ

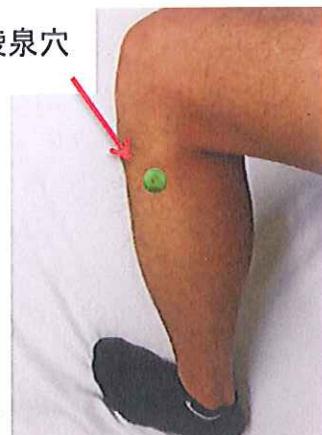
陽陵泉（ようりょうせん）穴 [足の少陽胆経]

[効果] 筋肉性疾患、胃酸过多症、腰痛、腓骨神経痛など。

[位置] 膝を曲げ、下腿の膝外側上端、腓骨頭前下際。

ここを強く揉んだら足の4趾と5趾のあたりにひびきます。

陽陵泉穴



古典では、1名を筋会といわれ、筋病を治療するツボとされています。

また、「病高くして内なるものは、これを陰の陵泉にとり、病高くして外なるものはそれを陽の陵泉にとる」としてこのツボの使い方を述べています。

つまり、へそから上の部分で、冷えを主とする陰の症状の場合は、陰陵泉をもって治療し、熱、はれ、痛みなど外に症状があらわれた場合は、陽陵泉で治療せよというわけです。

上半身と下半身とが全く症状が異なるときがあります。いわゆる上熱下寒、上寒下熱の症といわれるような場合に「上半身の病気は下半身にとる」のが原則とされ重要視されています。

例えば、私は肩が凝って頭痛がするなどという症状において、ここに鍼や円皮鍼という貼る鍼を使用する事もあります。

参考資料 芹沢勝助 著 ツボ療法
代田文誌 著 鍼灸治療基礎学



編集後記

インターネットによる会議、講習会が増え、交通費、宿泊費はいらなくなり財布にも優しく、全国各地で行われる講習会にも参加しやすくなりました。

逆に雰囲気とかが読みづらくなり誤解も生じやすくなります。人との距離も離れていく事もあるでしょう。

マスク生活にも慣れてきて、マスクの下は無精ひげでも、わからない。悪いことばかりではないようですが、無精ひげは、やる気の減少、ストレス性疾患の前兆でもあるともいわれます。私の場合は、横着です。（雅）